



報道関係各位

平成 21 年 8 月 17 日

約2ヶ月分のログを保存 安全管理機能を強化したナースコールを発売

医療・福祉施設の情報・通信システム専門メーカー株式会社ケアコム(本社:東京都調布市、社長:池川充洋)は、安全管理機能を強化したナースコールシステムを本年 9 月 30 日より発売開始します。

新製品は、施設規模・運営形式に応じた医療施設向け3グレードと福祉施設向け2グレードからなります。

施設における安全管理のニーズに応えるため、センサーの接続を自動で親機に表示する「センサー接続表示機能」、センサーからの呼出はその名称を表示すると共に一般の呼出とは異なる音で通知する機能、さらに呼出の記録を約2か月分保存する「ログ保存機能」を実現しました。また、上位グレードでは、転倒・転落リスクを事前把握するためのアセスメント評価用ソフトをオプションで準備しました。

これら充実した機能ときめ細かなラインナップにより、医療・福祉施設での安全向上に貢献します。

【製品ラインアップ】

	製品名	概要
医療施設向け	NICSS-R7	大規模・地域中核病院向け、親機:コンピューター形
	NICSS-R5	中小規模病院向け、親機:コンピューター形
	NICSS-R3	ベーシックグレード、親機:ボード形
福祉施設向け	CICSS-R5	ユニットケア対応福祉施設向け、親機:コンピューター形
	CICSS-R3	ベーシックグレード、親機:ボード形

【製品の特徴】

1. 「センサー接続表示」

マットセンサー等を使用するためにベッドサイドのナースコール用コンセントに専用機器を介し接続すると、自動的に親機側の表示が切り替わり、注意が必要な患者さんであることが一目でわかります(NICSS-R7、NICSS-R5、CICSS-R5 はコンピューター形親機画面にて、NICSS-R3、CICSS-R3 はボード形親機 LED 表示にて)。

さらに、マットセンサー等から呼出はその名称を表示するとともに一般の呼出とは異なる音で伝えるため、スタッフのより適切な対応が可能となります。

2. 「ログ保存機能」

制御機内のメモリーに、ナースコールの呼出先、呼出種別や呼出時刻などの記録が、ログとして約2ヶ月分保存されます。万が一のトラブルの際には、記録をエビデンスとして活用することもできて安心です。また、コンピューター形の上位グレードでは、ログとは別にハードディスクに約5年分の履歴が残せ、呼出回数や呼出理由の集計、グラフ表示により、ケアの計画資料として利用できます(NICSS-R7、NICSS-R5、CICSS-R5)。

3. 「転倒・転落スコアシートソフト」

オプションの転倒・転落スコアシートソフトの追加により、入院時や状態変化時のアセスメントスコア評価が行なえます。評価履歴を一元管理し、転倒・転落の危険リスクを把握できます。

(NICSS-R7、NICSS-R5、CICSS-R5)

【販売目標】

5グレード合計で、年間1,600システム

【マットセンサー接続について】

当社製品並びに当社が認証したマットセンサーのみ、ナースコールシステムとの連動動作保証の対象となります。

【商標について】

NICSS は、当社の登録商標です。

■ ケアコムについて

- ・社名： 株式会社ケアコム (<http://www.carecom.jp/>)
- ・本社： 〒182-0025 東京都調布市多摩川3-35-4
- ・従業員： 230名
- ・代表者： 代表取締役社長 池川充洋
- ・資本金： 9,000万円

ケアコムは、医療・福祉施設の情報・通信システム専門メーカーとして、ナースコールシステム、業務支援システムを販売しています。また、業界で唯一、ベッドサイドの医療機器とデータ通信が可能なナースコールシステムを実現しています。現在、全国の独立行政法人国立病院機構病院、国立大学法人大学病院、日赤病院の何れにおいても約8割の施設にて、当社のナースコールをご使用いただいています。

【本ニュースリリースについてのお問合せ先】

企画部 企画グループ 山町

TEL: 03-5216-0801

E-mail: sales@carecom.co.jp

写真1. NICSS-R3 用 ボード形親機



写真2. CICSS-R5、コンピューター形親機画面イメージ

